

PTA活動紹介		高P連受付番号	4
PTA(学校)名	愛知県立三好特別支援学校	部門	3
活動テーマ	『和・話・輪』(保護者座談会)		
キーワード	気軽な悩み相談	横のつながり	縦のつながり
開催日	毎年1~2回 本年度は令和元年6月10日(月)		
場所	三好特別支援学校 会議室		
時間	午前10時から午前12時まで(毎回約2時間)		
参加者	小学部保護者7名 中学部保護者8名 高等部保護者18名 合計33名の保護者と講師役2名		
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある子どもの子育てでの日常の小さな悩みや疑問を相談できる場、悩みを共有し助け合える場を創りたい。 ・豊田市、みよし市、日進市、東郷町と尾張と三河をまたぐ広範囲にわたる地域から入学してくる保護者を「隣近所の顔見知り」感覚でつなぐ場にしたい。 ・小学1年生から高校3年生までの12学年がそろう学校の中で、「先輩保護者」と「後輩保護者」をつなぐ場を提供したい。そして卒業生の保護者も「大先輩保護者」としてつなぎたい。 		
活動ポイント	話しやすいように10名程度の小さなグループに分け、膝をつき合わせて『輪』になり、『和』やかに『話』が進められるようにする。 テーマは決めず、その場で出た話題で話を進める。		
主体委員会名・講師名等	PTA研修部		

【当日】

(1) スケジュール

- 9:00 PTA研修部集合
会場準備、案内表示、受付
- 9:30 駐車場整理開始(保護者駐車場が混み合うため、駐車場整理は本校の必須活動)
- 9:40 受付開始、講師さん案内
・参加保護者には受付時にグループを知らせ、あらかじめグループの輪に座ってもらう。
- 10:00 開会
研修部長挨拶、講師紹介
- 10:10 グループごとに座談会開始
- 11:50 座談会終了、講師へお礼の挨拶
- 11:55 終了、アンケートの記入



(2) 進め方

- テーマは決めず、その場で出た質問や悩みに合わせて話を進めるようにする。
ファシリテーターは研修部の役員や理事が務める。
- 一人の講師で1グループを作るようにするが、時間を決めて講師に入れ替わってもらい、複数の講師の話が聞けるようにする。
- 異学年の保護者でグルーピングすることにより、対講師だけでなく、保護者同士でもアドバイスをし合えるようにする。



【事前準備】

(1) 講師(卒業生の保護者)探し

- PTA役員を中心に、卒業生の保護者で協力して下さる方を2名~3名探し、打診をする。
・お子さんが在学時に「和・話・輪」に参加してくださっているのでイメージは持ちやすく、声を掛ければ引き受けてくださる方が多い。

PTA役員一番の難関!
講師さんが決まれば

(2) 講師さんとの打合せ

- 講師さんに会い、会の趣旨の説明し、想定される質問やテーマについて確認をする。
・テーマは決めず、その場で出た話題で進行していくが、講師役の保護者の得意分野はどんな内容かを確認しておく。
例: 小、中学校は地域の学校へ行き、高等部から本校に入学してきたお子さんの保護者
→卒業後の進路についての話、友達付き合いの話
小学部から本校に在籍していたお子さんの保護者
→身辺面の自立に向けた支援についての話

(3) 全校保護者へのお知らせ

- 案内文を作り、全校保護者に配付する。
・案内文に、講師さんのプロフィールを載せることで保護者に身近に感じてもらう、出席者数増を図っている。

(4) 出欠確認と出席者のグルーピング

- 参加者名簿を作り、参加人数や講師さんの人数に合わせて2、3グループに分ける。
・お子さんの学年がバラバラになるように、グルーピングする。

【事後】

(1) アンケートの集約

- 当日参加者に書いてもらったアンケートを集約し、全校保護者に配付する。

(2) 講師さんへのお礼

- 講師さんへのお礼とアンケート結果の報告をする。

【まとめ】

この『和・話・輪』は、記録が残っているだけでも平成20年度から続いており、少しずつ形を変えながらも研修部が力を入れてきた行事である。守り続けてきたコンセプトは「気軽に」、そして障害のある子を育てる保護者が孤立しないよう「横」にも「縦」にも「つながれるように」、ということである。

本校に入学するまで子育て、特に障害のある子の子育てについての悩みを話せる場がなかったり、相談できる相手が少なかったりした保護者が、参加を経て右記のような感想をもってくれることは大変うれしいことである。

会の運営は大変な部分もあるが、準備などを通してまた新たなつながりができることもあり、こうしたことがPTA活動の『良さ』などだと感じている。係りの負担に配慮しつつも、今後も長く続けていきたい活動である。

<参加者のアンケートより>

- ・ 障害のある子の親として、今までの経験をお話いただき、大変共感し、勉強にもなりました。
- ・ 障害のある子本人だけでなく、支える親の健康や兄弟姉妹のケアなど、これから気を付けていこうと思いました。
- ・ 小学部のうちにやっておいた方がいいことを、分かりやすく教えていただき、よかったです。
- ・ 進路の話から、日常生活の身近な部分まで、より具体的な内容をたくさん伺うことができよかったです。
- ・ 子供の卒業後、就労先ばかりが気になりますが、余暇の過ごし方も重要だと思いました。
- ・ デイサービスや外部の人たちにもっと子供のことを理解